

日野・生活者 No.174 ネットワークニュース

2025年10月25日発行

発行/日野・生活者ネットワーク 発行責任者/出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12 中央日石ビル4F
URL <http://hino.seikatsusha.me/>

2月の市議選

白井なおこ擁立決定！

2026年2月8日告示、2月15日投開票が決まった日野市議会議員選挙。日野・生活者ネットワークは白井なおこ（3期目）の擁立を決定し、挑戦します。

これからも市民自治をめざし、市民自らがまちづくりに参画する、市民による提案が市政に反映できるしくみづくりに、取り組んでいきます。



太陽光パネルもリサイクル法の整備を！！



最近、話題の太陽光発電。メガソーラーの問題や、使用済みパネルはリサイクルできず、環境に優しくないという噂もあるけれど、本当はどうなのか川崎市扇島にあるリサイクル工場を見学しました。

太陽光パネルは、ガラス・アルミ枠・シート（パネル部分）・ジャンクションボックスの4つの部分から出来ています。

まず、ジャンクションボックスを手で取り、機械でアルミ枠、シート、ガラスに分別されます。

ガラスは粉碎すると細かく丸くなります。アスファルトの下に敷いたり、補修に使います。災害などで変形しても、ガラス部分が割れたりしていてもリサ



分別後に
粉碎されたガラス

イクル可能。その他はほぼ金属材料としてリサイクルされます。

東京都では4月から、家庭用太陽光パネルリサイクルに1KW25,000円の補助金が出るようになりました。しかし現状は、埋め立てが安いため、大半が埋め立てです。太陽光パネルは微量ですが有害物があるので、管理型で埋め立て処理されています。

太陽光パネルは100%リサイクル可能！！作る責任、使う責任、捨てる責任と繋がっていったら良いのではないのでしょうか。

太陽の光があれば発電できる、環境にやさしい太陽光発電。もっと普及する為にも、家電リサイクル法のように、太陽光パネルもリサイクルの法整備が必要だと思いました。

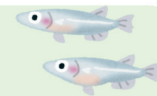


東京都の補助金についての
パンフレット→



日野・生活者 ネットワークニュース NO.174

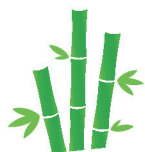
水辺の生き物調査、実施しました！



日野・生活者ネットワークもメンバーである日野地域協議会では、毎夏、浅川のふれあい橋付近で水辺の生き物調査を続けています。今年も7月28日にひのどんぐりクラブさんにご協力をいただき、実施しました。

それにしても今年の夏は暑かったですね。この日も16時で気温は34℃、水温は31℃。加えて川底には大量の藻が！どんぐりクラブのメンバーの方も、「ここでこんなのははじめて」と驚かれています。

水質、水温、水量などで、川の生き物は変化します。そして生き物は連鎖します。すでに命に関わる暑さと認識されていますが、このような生き物の連鎖の変化からの影響もでてくるはずですよ。気候危機まったなし！その対策を加速していけるよう、私たちも取り組んでいきます。



みんなの居場所で 流しそうめん

「日野市内の竹を活用しよう」と市内で活動する竹プロジェクトから生まれた日野地域協議会の企画。市内の竹林を管理している団体の協力を得て、今年も日野地域協議会で開催しました。

竹の組み立て・竹の箸やお椀作りをした後は、自分で作った器で流しそうめんや、かき氷を楽しみました。

みんなでワイワイおしゃべりしながら、美味しい時間を共有できて、夏休み最後のいい思い出になりました。



子どもも大人も、多世代で集まって、楽しい時間でした。



竹で器とお箸づくり。
自分で作った器で食べると、
美味しさも格別です。

作ってみよう・ おしゃべりしよう 学校給食



日野市で学校給食の牛乳が年間で約8万本が未開封で廃棄されている現状を変えたい！まず



は子ども達の声聴いてみよう、日野地域協議会で主催。給食メニュー（人気のジャージャー面と包みワントンスープ）をみんなで作って、意見交換をしました。（7月6日）。

「牛乳大好き」「半分しか飲めない」「ご飯に牛乳は合わない」など色々な声が出ました。

選択制を導入している自治体もあります。何をどのように変えていけるのか、まずは子どもたちが自分たちで考え、取り組んでいくことが大切だと話し合いました。皆さんの声をお寄せください。